



untitled

<http://www.kana-pie.com>

「untitled」 肩書や、形にとらわれず、自由に広がりのある活動を目指して・・・

神奈川県社会福祉法人経営青年会通信

contents

活動報告	ーアメリカ西海岸高齢者施設視察研修ー	・・・・・・	1・2面
	ー平成30年度第1回総会・研修会ー	・・・・・・	3・4面
お知らせ	ー今年度の予定・新入会員紹介・会員数ー	・・・・・・	4面

活 動 報 告

アメリカ西海岸高齢者施設視察研修

高齢研究委員会では、2カ年計画で認知症高齢者とのコミュニケーションスキルである“バリデーション”の研修を実施してきました。その集大成として、実際に“バリデーション”を現場で取り組んでいるアメリカ西海岸の高齢者施設に、平成30年9月6日（木）～13日（木）の日程で視察に行きました。視察メンバーは、当会のバリデーション研修の講師を務めていただいた、公認日本バリデーション協会代表の正垣幸一郎先生にも同行をお願いして7人の視察団を結成しました。

今回の視察は、①アメリカ発祥のバリデーションの現地での取り組みを知る、②アメリカの高齢者施設の現状を知る、③会員の資質向上と会員相互の交流を図る、ことを目的としました。

【メリディアンシニアリビング視察 9月7日】

ロサンゼルスにあるメリディアンシニアリビングを視察してきました。こちらの施設は、日本でいう介護付き有料老人ホームの位置づけにあたり、2005年よりバリデーションを取り入れているとのことでした。また、中国とのパートナー関係を結んでいて、定員25名に対して職員が50名という手厚い人員配置をしている施設でした。利用料金は、1階の居室は月額100万円、2階は150万円です。レーガン元大統領も入居していたと聞き、驚きました。取り組み内容としては、その人の過去を知らない適切なバリデーションが出来ないため、認知症の人の過去や歴史を知る「メモリーケア」を行っていました。日本でもこれらの必要性が言われていますが、一貫性が弱いことが多いです。メリディアンシニアリビングでは、組織として理論化・体系化しており、組織として学習しながら一貫性をもっているため成果が明確になっており、私たちが学ぶべきことではないかと感じました。また、家族の過去や趣味を確認して入居前または入居時に、ささやかなプレゼントを贈っているとのことでした。家族に対するの尊厳、その行為は小さいことかもしれませんが、家族に



施設外観・集合写真

としては大きいことで、参考にさせていただきたい内容でした。

メリディアンシニアリビングでは『認知症の人のケア』、『家族支援』について学びました。日本のケアで取り入れるとよいところ、日本のケアも頑張っているところ、両方を感じることができました。



施設内



感謝状贈呈



昼食会

【KEIROシニアリビング視察 9月10日】

シアトルにあるKEIROシニアリビングを視察してきました。こちらは、日本でいう老人保健施設の位置づけにあたり、入居している方もいらっしゃいますが、リハビリをして自宅に戻ることが基本の施設でした。認知症ケアユニットもあり、入居者の対象は、短期記憶のない重度の認知症の方です。部屋の前に今の写真ではなく若い頃の写真を貼り、自分の居室の認識をできるようにしているとのことでした。当日は、残念ながら感染症発症のため、見学はできませんでした。

取り組みとして個々のニーズによって1対1、グループ、そして国籍別のアクティビティを行っているとのことでした。

この地域は、施設への規則が厳しく、5人体制で2週間掛けて行う監査（日本で言う実地指導）が毎年あり、3年ごとに抜き打ち監査もあるとのことでした。また、アニマルケアを行っており、入居者に好評とのことでした。そして400人程度の日本人がボランティアを登録しているとのことでした。活動が熱心に行われていました。



施設外観

それから、ロングベットを用意して、ホスピスケアを行っていました。アメリカでは安楽死は、入居者本人が判断できなければ、家族に判断をしてもらおうそうです。また、職員を採用する時は過去10年間の犯罪歴を調べています。施設長は日本と同じように、管理者研修を受けなければならないとのことでした。費用は月100万円かかり、生活保護の方も対応するが、生活保護が増えると、施設経営が難しくなるとのことでした。多目的経営をしないと厳しい現状があり、閉鎖する施設も増えているとのことでした。政府の考えは国費の負担が増

えないように、なるべく自宅へと考えているそうです。

施設の経営に関しては、日本と共通する悩みがあることが分かり、あらためて地域貢献と法人の経営に関して考えさせられました。

そして視察での学びだけでなく、視察メンバーとの相互交流、それを通しての情報交換が、それぞれの今後の法人経営や人材育成に活かされていくと思います。また視察研修を通して、メンバーが



概要の説明

お互いを今まで以上に知ることができ、関係を深めることができました。

視察メンバーの関係強化は、今後の会の運営の貢献に繋がるはずです。今回、海外視察研修という貴重な機会をいただきありがとうございました。また同行していただいた正垣先生にこの場をお借りして、感謝を申し上げます。海外視察研修で学んだことを今後の法人経営や会の運営に活かしていきます。



感謝状贈呈



アニマルセラピー



リハビリ室

【高齢研究委員長 坂本 陽二郎】

平成30年度第1回総会

平成30年6月25日(月)午後1時よりホテルキャメロットジャパンにおいて平成30年度第1回総会が開催されました。冒頭に田代会長より本会の活性化、研修会の会員協力等のあいさつがあり、次の議案が提案されました。



総会の風景

第1号議案 役員選出について

第2号議案 平成29年度事業報告(案)について

第3号議案 平成29年度収支決算報告(案)について

第4号議案 平成30年度第1次収支補正予算(案)について

審議の結果、すべての議案が承認されました。

また、第1号議案については、会計の二ノ宮信介氏(多心会)から退任の申出があり、平本秀真氏(愛成会)が幹事に承認されました。

議事終了後、平成29年度をもって卒会された方々へ感謝状の贈呈を行いました。

(卒会者)

五十嵐光雄様(神奈川県社会福祉事業団) 碓井義彦様(育成会)

小川文隆様(城山楽寿会) 坂本喜一郎様(たちばな福祉会)

白井裕一様(子の神福祉会) 西山宏二郎様(藤嶺会)

Matthew William Karasch様(湘南育成園)

長年にわたり、経営青年会の発展のためご尽力いただき誠にありがとうございました。皆様の今後のご活躍とご発展を祈念いたします。最後に新会員の紹介があり、午後2時に閉会いたしました。

【総務広報委員 佐々木 淳】

総会研修会

平成30年6月25日(月)に研修会を開催しました。講師には、花田景子様をお招きして『今求められることばの力』をテーマにご講演いただきました。

花田景子様は、貴乃花部屋の女将、株式会社ル・クール代表取締役、また「河野景子のことばのアカデミー」の校長としてご活躍されています。

講演では、女将として親方を支えることや弟子が成長できるよう、また、人と人がかかわり共に成長できるように、想いを言葉で伝えているという大切さをお話してくださいました。

『人の成長は決めつけてはいけない』『愛情をもって人と接する』『想いや気持ちは言わないと伝わらないので、しっかり想い・気持ちをのせて言葉にする』など、とても心に残る言葉の数々でした。

参加者からは『想いを言葉にのせることで相手にしっかりと伝わる、とても感動する話だった』『人との関わり合いに必要な話し方を学べた』などの感想をいただきました。

私たち社会福祉法人の職員は人と関わり合いを持つことが多くあります。これからも関わるすべての方々より良い関係を構築していき『理想の福祉』の実現に進んでまいります。

今回の研修では相手に気持ち伝える大切さを再確認することができる、とても素晴らしい研修となりました。



講演する花田景子様

【研修委員 大畑 直】

お知らせ

今後の予定

本年度予定されている研修や大会です。
詳細については、案内書、またはホームページでご確認ください。

開催日	場所等	テーマ等
平成30年10月23日	長岡グランドホテル	関東・甲信越静岡ブロック定例勉強会
平成30年10月25日～26日	箱根水明荘	東京都・山梨県合同宿泊研修会
平成30年11月15日～16日	京都府民総合交流プラザ	第22回社会福祉法人経営青年会全国大会
平成31年2月19日～20日	茨城県	関東・甲信越静岡ブロック総会・研修会

新入会員紹介

新たに入会された会員を紹介いたします。

飯田裕彦様（神奈川県社会福祉事業団） 杉本哲也様（睦愛会） 成田真一様（若竹大寿会）
橋本愛様（泰明会） 藤井大祐様（若竹大寿会） 松井純一様（若竹大寿会）
山口美智子様（若竹大寿会） 若林裕也様（若竹大寿会）

会員状況

98名 法人数 71 法人 （平成30年10月1日現在）

編集後記

皆様、お忙しいところ広報誌の原稿作成していただきありがとうございました。平本さんより引き継ぎ、初めての編集で至らない点多々あったかと思えます。改めてこの場をかりて御礼申し上げます。引き続き、会員の皆様にとって有益な広報誌となるよう総務広報委員会一同努めて参りますので今後ともよろしくお願い申し上げます。（Yuki Ishikawa）

発行／神奈川県社会福祉法人経営青年会

連絡先／〒221-0844

横浜市神奈川区沢渡4-2

神奈川県社会福祉会館内

（福）神奈川県社会福祉協議会

福祉サービス推進部

電話：045-311-1424

Fax：045-320-4077